

ご案内

国立病院機構舞鶴医療センター 食物アレルギーとエピペン講習会 － 小児食物アレルギー患者のアナフィラキシーへの対応 －

近年小児の食物アレルギー患者はますます増加する傾向であり、保育や教育の現場では一層関心が高まっているものと思います。食物アレルギーによる強いアレルギー反応（アナフィラキシー）の出現時には速やかに適切な対応を取ることが要求され、そのためエピペンに対する知識と実際の使用法の習得が求められています。

最近保育や教育の現場のためにエピペンを処方する機会が増えてきましたが、残念ながら適切に使用されているケースというのは少ないと感じています。いたずらに複数本を所持していたり、打つべき時に打てなかったり、エピペンの管理に問題があったりするなど多くの問題点があることを認識しています。園あるいは学校からエピペンを処方してもらうように言われたとのことで2本目以上を要求されることも多くなっています。エピペンは有効な治療法ではありますが、使用のタイミングが重要であり、またエピペンを打つことよりももっと大切な対処も数多くあります。

当院小児科は地域の小児医療の中心として食物アレルギーの診療に責任を持って関わらせて頂いており、保育や教育の現場と連携し食物アレルギーを持つ子供達により安全・安心な社会生活を送れるよう努力していくのも当科の使命の一つであると考えています。

このような状況を踏まえ、上記講習会を開催します。

- 開催日時については当院ホームページに順次ご案内します。
- 施設単位での参加申し込みをお願いします。1施設3名までとします。
- 受講希望は当院ホームページの所定のメールフォームより、開催日の1週間前までにお申し込みください。また教材をダウンロードし受講までに必ず予習をお願いします。

（教材はお申込みいただいたメールアドレスにお送りさせていただきます）

URL：<https://maizuru.hosp.go.jp/lecture/index.html>

QRコード：



- **（重要）園あるいは学校への常備を目的にする当科からのエピペン処方に関しては、本講習会の受講を条件とします。知識・技能の更新のため2年間の期限とします。**

開催要項

場所	舞鶴医療センター 地域医療研修センター 大ホール（下図参照）
日時	2024年1月25日（木）15時～
講義内容	(1) 食物アレルギーとアナフィラキシーについて (2) エピペンの使い方 (3) 実習 (4) 質疑応答と質問事項に対する回答
所要時間	45分程度
参加費	資料作成のための実費 1,000円（一人当たり） ※当日受付にて領収いたします。現金にてご準備をお願いします
問い合わせ先	NHO 舞鶴医療センター 医事課 医事専門職 TEL 0773-62-2680（代表）

参考) 舞鶴医療センター正面入口から地域医療研修センターまでの経路

